

親子で楽しむ町内の文化財

パートII

2 無量壽院の本堂

蓮池小学校から浜手へ1000軒ほど行くと、堂々としたお寺がみえてきます。播磨町では最も古く、平安時代の始めにできたといわれる無量壽院です。南の新しい門をくぐり境内に入ると、自然に謹んだ心になるほど歴史の重みを感じます。そのまま奥に進むと、屋根のてっぺんに、たまねぎのような形をした瓦をのせた建物に着きます。これが本堂です。町内の古い木造の建物のひとつです。



▲均整のとれた美しい建物です

- 【クイズ】
このたまねぎのような瓦には、どのような願いがあるのでしょうか。
- ① 鷗尾といわれ、建物にあらゆる災がなないように
 - ② 宝珠といわれ、人びとの願いが多くなうように
 - ③ 水煙といわれ、建物に火災がなないように

「歴史の宝石箱」と言われている播磨町。町の面積は狭いけど、文化財の数は多く、少し歩けばそこかしこに、地域の人びとが昔から大切に受け継いできたものがあります。そのような街角の文化財を紹介していきます。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000

無量壽院の本堂は、今から、約300年前に、建てられました。もともとは、宗祖・空海の御影を収める御影堂として建てられました。だから、お寺の中でも大切なところでした。その後、少し改造されて、今のように、ご本尊の阿弥陀如来がお祀りされました。

この建物のすばらしいところは、天井に、絵が描かかれており、建てられた元禄時代ごろのはやかな雰囲気そのまま残っている点です。草花や十二支などを、緻密な筆遣いで描いています。その他「几帳面」といわれる直線的な面取りや当時の本組みなど、元禄時代の特徴がよく残っています。宝珠というあらゆる願いをかなえる珠の形の瓦を頂いたこの本堂。その前にたたずむと、心穏やかな日々の暮らしこそ、最も大切な宝であり、多くの人が願ったことと思います。



●クイズの答 ② 宝珠(ほうじゅ)といわれ、人々の願いが多くなうように。

町の人口 4月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)
34,252人(-30人) 男...16,778人(+1人) 世帯数...13,121(+21)
女...17,474人(-31人)